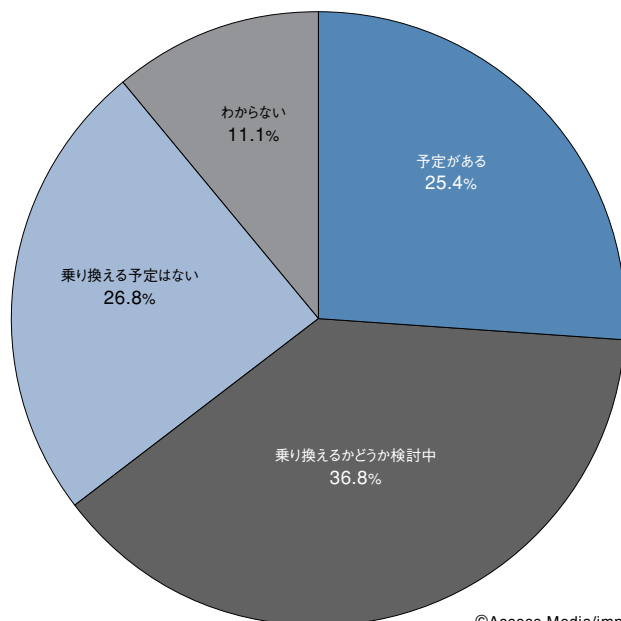


## ISDN/モデムによる ダイヤルアップ

### ブロードバンドへの乗り換え意向は昨年より落ち着いたものの予定者が25.1%

資料2-1-21 ISDNダイヤルアップ接続利用者のブロードバンド接続への乗り換え意向 N=283

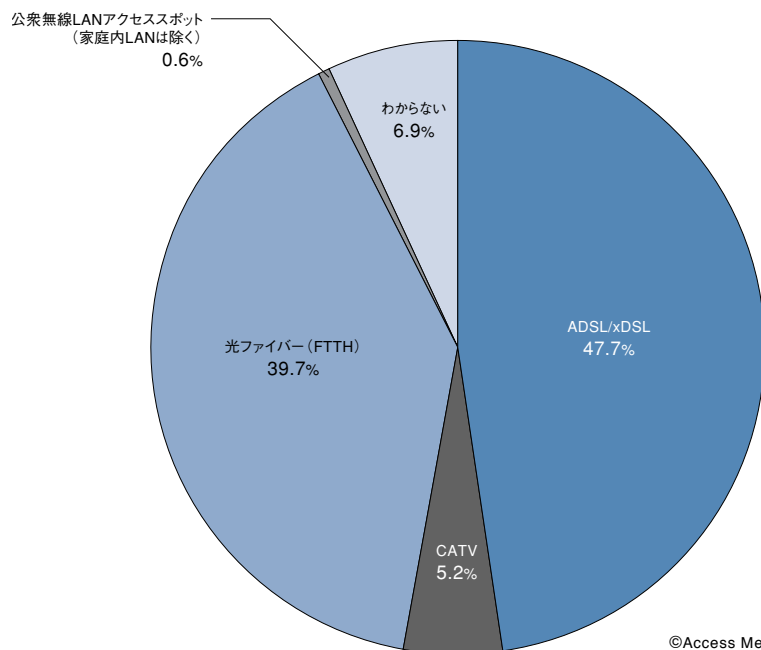


©Access Media/impress,2004

このところ減少しつつあるISDNによるダイヤルアップ接続利用者のブロードバンドへの乗り換え意向は、およそ3分の1ずつが「乗り換える予定」「乗り換えるかどうか検討中」「乗り換える予定はない」に分かれる。昨年のそれぞれ64.5%、22.2%、6.6%と比較すると、乗り換え意向は減少しており、すでにISDN利用者の乗り換え意向者の大部分がブロードバンド化済みであることを伺わせる結果となっている。

### 昨年との比較では光ファイバーへの乗り換え意向がやや強まる

資料2-1-22 ISDNダイヤルアップ接続利用者が契約予定のブロードバンド回線 N=174



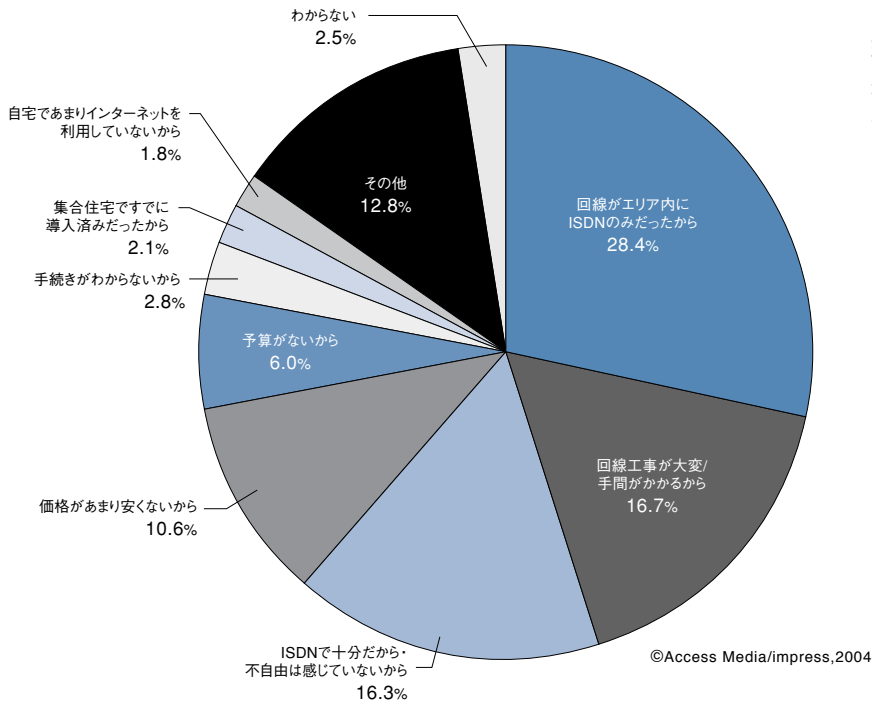
©Access Media/impress,2004

乗り換え予定のブロードバンド回線は「ADSL/xDSL」(47.7%)と「光ファイバー (FTTH)」(39.7%)の2派に分かれる。昨年との比較で見ると「ADSL/xDSL」への乗り換え意向がやや減少し、「光ファイバー/FTTH」に対する意向が強まっていることがわかる。

## ISDN/モデムによる ダイヤルアップ

### 昨年同様、回線の地域格差の問題や工事などの手間が主な理由

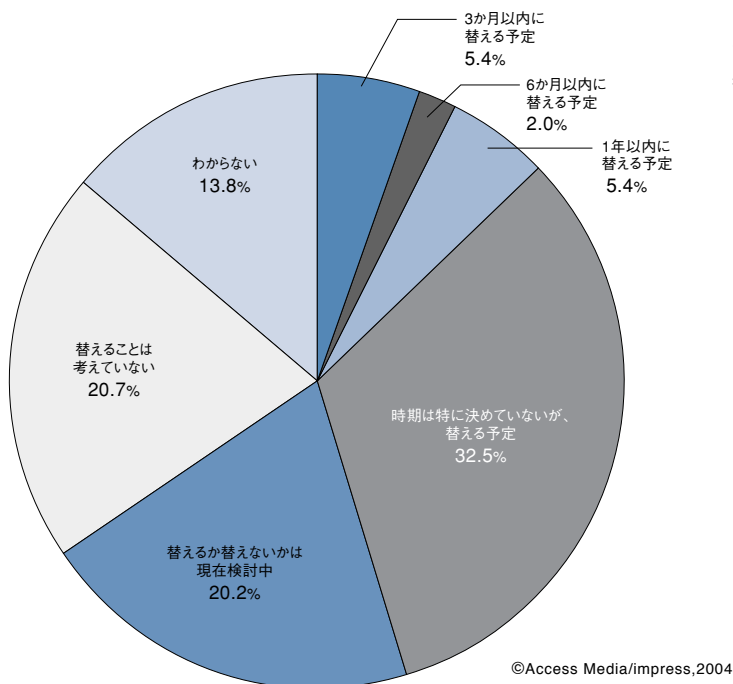
資料2-1-23 ISDNダイヤルアップ接続利用者のブロードバンド非利用理由 N=282



ISDN利用者の主なブロードバンド非利用理由としては、主に回線の地域格差の問題や工事などの手間が挙げられている。一方、「ISDNで十分だから・不自由は感じていない」という回答者も見られる。この傾向は昨年とほとんど変わっていない。

### ISDN利用者より積極的だが昨年の勢いからはやや減退

資料2-1-24 モデムによるダイヤルアップ接続利用者のブロードバンド接続への乗り換え意向 N=203

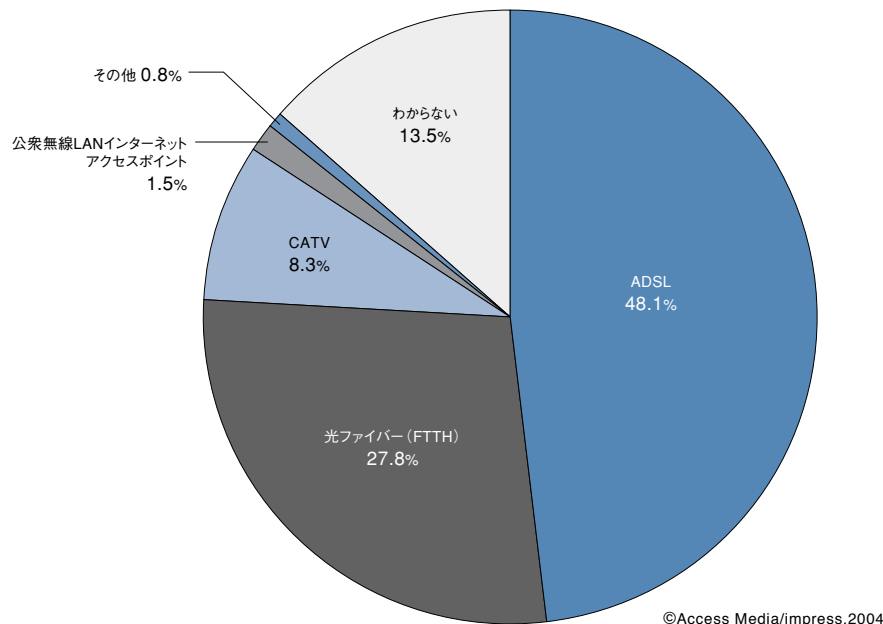


モデムによるダイヤルアップ利用者のブロードバンドへの乗り換え意向はISDN利用者よりは、積極的である。しかしながら昨年と比べると乗り換え意向はやや減少しており、この傾向はISDN利用者と同様である。

## ISDN/モデムによる ダイヤルアップ

### 約半分が「ADSL/xDSL」への移行を予定

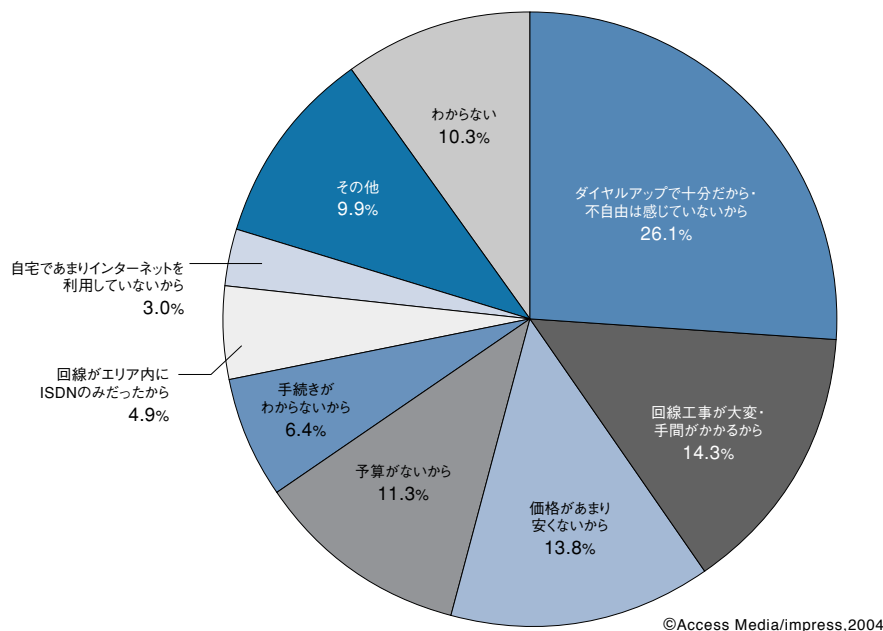
資料2-1-25 ダイアルアップ接続利用者の契約予定のブロードバンド回線 N=133



ブロードバンドへ接続の意向ある回答者の約半分は「ADSL/xDSL」回線を、27.8%が「光ファイバー (FTTH)」回線を予定している。ISDN接続利用者の場合と比べると「ADSL/xDSL」に対する意向が強い傾向であるが、昨年と比較すると「光ファイバー (FTTH)」回線への意向が高まる傾向である。

### 「ダイヤルアップで十分だから・不自由は感じていないから」が26.1%

資料2-1-26 モデムによるダイヤルアップ接続利用者のブロードバンド非利用理由 N=203



主なブロードバンド非利用理由は、「ダイヤルアップで十分だから・不自由は感じていないから」(26.1%)で、回線工事の手間や条件などはそのあとに続く。この傾向は昨年と同傾向である。この1年ですでにブロードバンドへの移行を終えた人が相当数いることが推測され、その中で現在でもダイヤルアップで利用している人は、ブロードバンド化をそれほど望んでいないことがわかる。



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)